

新座市男女平等意識・実態調査（案）

～御協力のお願～

市民のみなさまには、日頃から市政に御協力いただき、厚く御礼申し上げます。

新座市では、男女が共に、家庭に、職場に、地域に、より自由に参加できる社会を目指して、様々な課題に取り組んでいるところです。

本調査は、令和9年度に策定する第5次の「にいざ男女共同参画プラン」の基礎資料とするとともに、今後の男女共同参画推進の参考とするため、市内にお住いの18歳以上の方2,000人を無作為に選び、調査票をお送りしています。

回答は統計的に処理いたしますので、個人を特定することや、収集した個人情報を調査の目的以外に使用することは一切ございません。

大変お忙しいところ誠に恐縮とは存じますが、調査の趣旨を御理解いただき、御協力くださいますようお願い申し上げます。（回答時間：10分～15分程度）

なお、これまでの調査結果は、その都度、報告書として作成しており、市ホームページ（<http://www.city.niiza.lg.jp/>）で公表していますので、御参照いただければと存じます。

令和8年 月

新座市長 並木 傑

御回答に当たってのお願い

【回答期限】 令和8年〇月〇日（〇）まで 【回答方法】 郵送 又は WEB

- (1) アンケートの記入は、封筒の宛名の御本人にお願いします。
- (2) 質問ごとにあてはまる回答の番号・記号を選び、○で囲んでください。「その他」にあてはまる場合は、（ ）内にその内容を具体的にご記入ください。
- (3) 回答は、「○は一つ」「○は各項目に一つ」など設問ごとに示されている数を選んでください。
- (4) 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、【 】内のことわり書をお読みください。また、矢印（ ）のあるところは、矢印に従って進んでください。
- (5) 調査票の回答は、郵送の場合は、調査票に直接記入し、同封の返信用封筒（切手不要に入れて回答期限までにポストに投函してください）。
- (6) 以下のURL又は二次元コードから回答用ウェブサイトアクセスしてください。アンケート用紙と同じ画面が表示されます。

《回答用ウェブサイトURL》

QRコード

《調査票についての問合せ先》

新座市総務部人権推進室

〒352-8623 新座市野火止1-1-1

電話 048(477)1513

◆ 最初にあなた自身のことについてお答えください。

<p>F 1 あなたの性別は。 あなたの性別はどれですか。自認している性別を選んで下さい。</p>	<p>1 男性 2 女性 3 その他 ()</p>
<p>F 2 あなたの年齢は。 (令和8年〇月〇日時点) (〇は一つ)</p>	<p>1 18～19歳 5 50～59歳 2 20～29歳 6 60～69歳 3 30～39歳 7 70歳以上 4 40～49歳</p>
<p>F 3 あなたの職業は。(〇は一つ)</p>	<p>1 自由業・自営業・家業(農業・会社経営など) 2 勤め人(正規雇用) 3 勤め人(フルタイムの非正規雇用(臨時・派遣・アルバイトなど)) 4 勤め人(パートなど、フルタイムでない非正規雇用) 5 内職 6 専業主婦・専業主夫 7 学生 8 無職 9 その他 ()</p>
<p>F 4 あなたは、結婚の経験がありますか。 あなたは現在、結婚(事実婚も含む)していますか。(〇は一つ)</p>	<p>1 既婚結婚している 2 未婚である 3 死別または離別している 4 離別 4-5 その他 ()</p>
<p>F 5 【F 4で、「1 既婚」「1 結婚している」と答えた方にお聞きします。】 あなたの配偶者(パートナー)の職業は。(〇は一つ)</p>	<p>1 自由業・自営業・家業(農業・会社経営など) 2 勤め人(正規雇用) 3 勤め人(フルタイムの非正規雇用(臨時・派遣・アルバイトなど)) 4 勤め人(パートなど、フルタイムでない非正規雇用) 5 内職 6 専業主婦・専業主夫 7 学生 8 無職 9 その他 ()</p>
<p>F 6 あなたには、子どもがいますか。</p>	<p>1 いる (人) 2 いない</p>
<p>F 7 子どものいる方にお聞きします。 一番年齢の低い子どもは、現在次のどれにあてはまりますか。(〇は一つ) [子どもと同居していない場合も含みます。]</p>	<p>1 1歳未満 2 1～3歳未満 乳幼児(3歳未満の子ども) 3 2～3歳～小学校入学前 未就学児(3歳以上小学校入学前の子ども) 4 3 小学生 5 4 中学生 6 5 高校生(その年齢にあたる方を含む) 7 6 短大・各種学校・大学生・大学院生・浪人生 19歳以上の子ども 8 社会人(未婚) 9 社会人(既婚)</p>

<p>F 8 あなたの家族の構成は、 あなたが現在一緒に住んでいるご家族 の構成は。(〇は一つ)</p>	<p>1 一人住まい 2 夫婦のみ 3 ひとり親+子ども 4 両親+子ども 5 親+子ども夫婦 6 親+子ども夫婦+孫 7 兄弟姉妹 8 その他 () 1 単身世帯 2 配偶者と同居 3 親子2世代 4 親・子・孫の3世代 5 その他 ()</p>
--	--

1 男女平等についてうかがいます

問1 次にあげる分野において、男女の地位は平等であると思いますか。ア～クの各項目について、それぞれあてはまる番号を選んでください。(○は各項目に一つ)

	女性が優遇 されている	やや女性が 優遇されている	平等である	やや男性が 優遇されている	男性が優遇 されている	わからない
ア 家庭では	1	2	3	4	5	6
イ 職場では	1	2	3	4	5	6
ウ 学校教育の場では	1	2	3	4	5	6
エ 社会活動地域活動の場では	1	2	3	4	5	6
オ 政治の場では	1	2	3	4	5	6
カ 法律や制度では	1	2	3	4	5	6
キ しきたりや慣習では	1	2	3	4	5	6
ク 余暇生活では	1	2	3	4	5	6
ク 全体としては社会全体では	1	2	3	4	5	6

問2 「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。(○は一つ)

- 1 そのとおりだと思う
2 どちらかといえばそう思う

- 3 どちらかといえばそう思わない
4 そうは思わない

問2-1 その理由は何ですか。(○は一つ)

- 1 男は仕事、女は家事・育児に向いているから
2 男女の役割をはっきり分ける方が、仕事も家庭もうまくいくから
3 子どものころから、そうした教育をされているから
4 子どもを育てるには、女性は家庭にいた方がよいから
5 女性は仕事を持って、勤労条件に恵まれず、仕事と家庭との両立が難しいから
6 その他 ()

問2-2 その理由は何ですか。(○は一つ)

- 1 生まれつき男女の役割は決められていないから
2 仕事や家事の能力に男女差はないから
3 従来の慣習が薄れ、男女の役割を固定しない風潮が高まっているから
4 仕事の面でも活躍している女性が多くなっているから
5 男女ともに社会的にも家庭的にも自立することが望ましいから
6 その他 ()

2 家庭生活についてうかがいます

問3 あなたの家庭での実際の役割分担はどうですか。ア～クの各項目について、それぞれあてはまる番号を選んでください。(○は各項目に一つ)

	主として男性	共同して分担	主として女性	該当しない
ア 家事（炊事・洗濯・掃除など）	1	2	3	4
イ 子育て（子どもの世話、しつけ、教育など）	1	2	3	4
ウ 介護（高齢者の世話、病人の介護など）	1	2	3	4
エ 地域の行事への参加	1	2	3	4
オ 自治会、PTA活動	1	2	3	4
カ 生活費の確保	1	2	3	4
キ 家計の管理	1	2	3	4
ク 高額な商品や土地・家屋の購入の決定 重大事項の決定（高額な商品や土地、家屋の購入など）	1	2	3	4

問4 家庭生活の考え方について、あなたは「実生活」では何を優先していますか。また、「希望」では何を優先したいですか。(○は各項目に一つ)

1 実生活

- 1 家事・子育て・介護を優先している
- 2 どちらかといえば、仕事や趣味よりも家事・子育て・介護を優先している
- 3 仕事や趣味と家事・子育て・介護の優先度は同じくらいである
- 4 どちらかといえば、家事・子育て・介護より、仕事や趣味を優先している
- 5 仕事や趣味を優先している

2 希望

- 1 家事・子育て・介護を優先したい
- 2 どちらかといえば、仕事や趣味より家事・子育て・介護を優先したい
- 3 仕事や趣味と家事・子育て・介護の優先度は同じくらいである
- 4 どちらかといえば、家事・子育て・介護より、仕事や趣味を優先したい
- 5 仕事や趣味を優先したい

3 就業についてうかがいます

問5 ~~女性が働くことについて、あなたの考え方にもっとも近いものを選んでください。~~
~~あなたの実際の働き方はどうですか（どうでしたか）。もっとも近いものを選んでください。~~
女性の働き方について、あなたの「理想」はどうあるべきだと思いますか。また、現実はどうですか。
(○は一つ)

1 理想

- 1 結婚や出産の有無にかかわらず、仕事を続けるほうがよい
- 2 子育ての時期だけ一時やめて、その後はフルタイムで仕事を続けるほうがよい
- 3 子育ての時期だけ一時やめて、その後はパートタイムで仕事を続けるほうがよい
- 4 結婚後または子育て終了時から仕事を持つほうがよい
- 5 子どもができるまでは仕事を続け、その後は仕事に就かないほうがよい子どもができたなら家事や子育てに専念する
- 6 結婚するまでは仕事を続け、その後は仕事に就かないほうがよい結婚後は家事などに専念する
- 7 仕事に就かないほうがよいは持たない
- 8 その他 ()
- 9 わからない

2 現実

- 1 結婚や出産の有無にかかわらず、仕事を続けている (いた)
- 2 子育ての時期だけ一時やめて、その後はフルタイムで仕事を続けている (いた)
- 3 子育ての時期だけ一時やめて、その後はパートタイムで仕事を続けている (いた)
- 4 結婚後または子育て終了時から仕事を持っている (いた)
- 5 子どもができるまでは仕事を続け、その後は仕事に就いていない (いなかった) 子どもができたなら家事や子育てに専念している (いた)
- 6 結婚するまでは仕事を続け、その後は仕事に就いていない (いなかった) 結婚後は家事などに専念している (いた)
- 7 仕事に就いていない (就いていなかった) は持っていない
- 8 その他 ()
- 9 わからない

【現在働いている方、または、働いた経験のある方にお聞きします。】

問6 あなたの職場では、仕事の内容や待遇面で、女性に対して不平等なことがありますか (ありましたか)。(あてはまるもの全てに○)

- 1 賃金に男女差がある
- 2 男性に比べて女性の採用が少ない
- 3 昇進、昇格に男女差がある
- 4 能力を正當に評価しない
- 5 配置場所が限られている
- 6 補助的な仕事しかやらせてもらえない

- 7 企画会議などの意思決定の場に女性が参加できない傾向がある
- 8 女性を幹部職員(管理職)に登用しない又は登用が少ない
- 9 有給休暇や育児・介護休暇が取得しにくい
- 10 結婚や出産で退職しなければならないような雰囲気がある
- 11 中高年以上の女性に退職を勧奨するような雰囲気がある
- 12 教育・研修を受ける機会が少ない
- 13 特になし
- 14 その他 ()

問7 育児や家族介護を行うために、法律に基づき育児休業や介護休業を取得できる制度があります。あなたは、この制度を活用して、男性が育児休業や介護休業を取得することについてどのように思いますか。

(○は各項目に一つ)

	積極的に 取得したほうがよい	どちらかといえば 取得した方がよい	どちらかといえば 取得しない方がよい	取得しない方がよい	わからない
ア 育児休業	1	2	3	4	5
イ 介護休業	1	2	3	4	5

問7-1 【問7で「どちらかといえば取得しない方がよい」または「取得しないほうがよい」と答えた方にお聞きします。】

そう思う理由は何ですか。(○は一つ)

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1 休業後現職に復帰しにくい | 5 仕事が忙しい |
| 2 代替要員の確保が困難である | 6 昇進・昇給の際に不利になる |
| 3 休業期間中無給あるいは減収となる | 7 子育てや介護はやはり女性の方が向いている |
| 4 職場の人たちに迷惑をかける | 8 その他 () |

問8 女性が働き続ける環境をつくるためには、どのようなことが必要だと思いますか。
女性が結婚後、出産後も退職せずに働き続けるためには、どのようなことが重要だと思いますか。
(あてはまるもの3つまでに○)

- 1 男女とも労働時間の短縮を促進
- 2 育児休業制度・介護休業制度の定着・促進
- 3 労働の場での男女平等の推進
- 4 保育所・学童保育などの育児環境の充実と経済的負担の軽減
- 5 介護サービス、介護施設などの充実
- 6 働き続けることへの家族の理解・協力

8 その他 (_____)

- 1 配偶者（パートナー）の理解や家事・育児などへの参加
- 2 配偶者（パートナー）以外の家族の理解や家事・育児などへの参加
- 3 保育施設や学童保育の充実
- 4 福祉施設やホームヘルパーの充実
- 5 労働時間の短縮、在宅勤務やフレックスタイム等の制度の導入・充実
- 6 企業経営者や職場の理解
- 7 育児・介護休業などの休業制度の充実
- 8 昇進・昇給などの職場での男女平等の確保
- 9 その他 (_____)

問9 ~~女性が再就職・起業しやすい結婚や出産などで退職した女性が、再就職しやすい環境をつくるためには、~~
~~どのようなことが必要だと思いますか。~~
~~(あてはまるものすべてに3つまでに○)~~

- 1 ~~再就職・起業準備のための講座やセミナー、技能訓練の充実~~
- 2 ~~再就職・起業制度の促進~~
- 3 ~~求人情報の提供や女性が働ける新しい職場、職域の開発~~
- 4 ~~保育所・学童保育などの育児環境の充実~~
- 5 ~~再就職・起業することへの家族の理解・協力~~
- 6 ~~その他 (_____)~~

- 1 家族の理解や家事・育児などへの参加
- 2 子どもや介護を必要とする人などを預かってくれる施設の充実
- 3 就職情報や職業紹介などの相談機関の充実
- 4 技能習得のための職業訓練の充実
- 5 企業経営者や職場の理解
- 6 企業等が再就職を希望する人を雇用する制度の充実
- 7 在宅勤務やフレックスタイム制度、短時間勤務制度の導入や介護休業などの制度の充実

問10 男女が共に仕事と家庭の両立をしていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまるもの3つまでに○)

- 1 給与等の男女間格差をなくすこと
- 2 年間労働時間を短縮すること
- 3 代替要員の確保など、育児休業・介護休業制度を利用できる職場環境をつくること
- 4 育児や介護のために退職した職員をもとの会社で再雇用する制度を導入すること
- 5 育児休業・介護休業中の賃金その他の経済的補償を充実すること
- 6 地域の保育施設や保育時間の延長など保育内容を充実すること
- 7 在宅勤務やフレックスタイム制度など、柔軟な勤務制度を導入すること
- 8 職業上、必要な知識・技術等の職業訓練を充実すること
- 9 女性が働くことに対し、家族や周囲の理解と協力があること
- 10 男性が家事や育児を行うことに対し、職場や周囲の理解と協力があること
- 11 男性が家事や育児を行う能・機会を高めること
- 12 わからない
- 13 その他 ()

【現在働いている方、または、働いた経験のある方にお聞きします。】

問11 セクシュアル・ハラスメント(性的嫌がらせ)に関して、あなたの職場では以下のようなことがありますか。ア～コの各項目について、それぞれあてはまる番号を選んでください。(○は各項目に一つ)

	ある	された経験がある	見たことがある	話に聞いたことがある	ない そうしたことはない
ア 嫌がっているのに性に関する話を聞かせる	1	2	3	4	
イ 異性の身体にさわる	1	2	3	4	
ウ 宴会でお酌やデュエットを強要する	1	2	3	4	
エ 上司が地位を を や立場を利用した性的誘いをする	1	2	3	4	
オ 結婚予定や出産予定をたびたび聞く	1	2	3	4	
カ ヌード写真を見せられたり、ヌードや水着のポスターなど見える所に貼る	1	2	3	4	
キ 職場の女性を「女の子」や「オバサン」と呼ぶ 不快な呼び方で呼ばれた	1	2	3	4	
ク 容姿について不快なことを言う	1	2	3	4	
ケ 年齢について、とりたてて話題にしたり、からかったりする	1	2	3	4	
コ その他 ()	1	2	3	4	

4 社会参加参画についてうかがいます

問12 あなたは、市の施策について女性の意見や考え方がどの程度反映されていると思いますか。
(○は一つ)

- 1 十分反映されている
- 2 ある程度反映されている
- 3 どちらともいえない

- 4 あまり反映されていない
- 5 ほとんど反映されていない



そう思う理由は何ですか。(○は一つ)

- ア 女性議員が少ないため
- イ 行政機関の女性の管理職が少ないため
- ウ 審議会や委員会に女性委員が少ないため
- エ 地域組織のリーダーに女性が少ないため
- オ 女性自身の意欲や責任感が乏しいため
- カ 女性自身が消極的であるため
- キ 男性の意識・理解が足りないため
- ク 社会の仕組みが女性に不利なため
- ケ 女性の能力に対する偏見があるため
- コ その他 ()

5 配偶者(パートナー)や交際相手からの暴力についてうかがいます

【配偶者(パートナー)がいる(いた)方にお聞きします。】

問13 これまでに、あなたの配偶者(パートナー)に対して、次のようなことをしたことがありますか。
ア～サの各項目について、それぞれあてはまる番号を選んでください。(○は各項目に一つ)

	つ た 何 度 も あ	あ っ た 一 、 二 度	全 く な い
ア 何を言われても無視をした	1	2	3
イ 電話、メール、SNS等を利用して、交友関係や行動を細かく監視した	1	2	3
ウ 配偶者(パートナー)が大切にしているものを、わざと壊したり捨てたりした	1	2	3
エ 「だれのおかげで食べられるんだ」「給料が少ないくせに」「役立たず」などと人格を否定することを言った	1	2	3
オ 大声でどなったり、殴るふりをしておどした	1	2	3
カ 殴る、蹴るなどの暴力をふるった	1	2	3
キ 命の危険を感じさせるほどの暴力をふるった	1	2	3

ク	見たがっていないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せた	1	2	3
ケ	避妊に協力しなかった	1	2	3
コ	おどしや暴力によって、性的な行為を強要した	1	2	3
サ	生活費を渡さないなど、経済的に困窮させた	1	2	3



すべて「全くない」を選んだ方は、問15に進んでください。

【問13で、「何度もあった」、または、「1、2度あった」に一つでも回答した方にお聞きします。】

問14 そのようなことをするに至った理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1	相手が自分の言うことを聞こうとしないので、行動でわからせようとしたから
2	いらいらがつのり、ある出来事がきっかけで感情が爆発したから
3	相手がそうされても仕方がないようなことをしたから
4	相手が自分に危害を加えてきたので、身を守ろうと思ったから
5	親しい関係ではこうしたことは当然であるから
6	自分が相手を管理する立場であったから
7	覚えていない
8	特に理由はない
9	その他（ ）

【配偶者（パートナー）がいる（いた）方にお聞きします。】

問15 これまでに、あなたの配偶者（パートナー）から、次のようなことをされたことがありますか。

ア～サの各項目について、それぞれあてはまる番号を選んでください。（○は各項目に一つ）

	あ っ た	何 度 も	あ っ た	一、 二 度	全 く な い
ア	1	2	3		
イ	1	2	3		
ウ	1	2	3		
エ	1	2	3		
オ	1	2	3		
カ	1	2	3		
キ	1	2	3		
ク	1	2	3		
ケ	1	2	3		

コ おどしや暴力によって、性的な行為を強要された	1	2	3
サ 生活費を渡してくれないなど、経済的に困窮させられた	1	2	3



すべて「全くない」を選んだ方は、問18に進んでください。

【問15で、「何度もあった」、または、「1、2度あった」に一つでも回答した方にお聞きします。】

問16 問15のことをされた時に、子ども（18歳未満）はそれを見たことはありましたか。
(○は一つ)

1 あった
2 なかった
3 わからない
4 子どもはいない

【問15で、「何度もあった」、または、「1、2度あった」に一つでも回答した方にお聞きします。】

問17 問15のことをされた時に、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。
(○は一つ)

1 相談した

2 相談したかったが、相談しなかった
3 相談しようとは思わなかった

問17-1 実際に、だれ(どこ)に相談しましたか。
(あてはまるものすべてに○)

1 家族
2 友人・知人
3 同じ経験をした人
4 職場の上司
5 医師・カウンセラー
6 弁護士
7 公的な相談窓口・電話相談など
8 新座市女性困りごと相談室
9 新座市福祉相談室
10 その他 ()

問17-2 だれ(どこ)にも相談できなかった理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1 だれ(どこ)に相談してよいのかわからなかったから
2 恥ずかしくてだれにも言えなかったから
3 相談しても無駄だと思ったから
4 相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思ったから
5 相談窓口の担当者の言動により、不快な思いをすと思ったから
6 自分さえ我慢すれば、このまま何とかやっていくことができると思ったから
7 世間体が悪いから
8 他人を巻き込みたくないから
9 思い出したくないから
10 自分に悪いところがあると思ったから
11 相談するほどのことではないと思ったから
12 その他 ()

【あなたの10代から20代の経験についてお聞きします。結婚している方、結婚したことのある方については、結婚前についてお答えください。】

問18 10代から20代の時に、交際相手がいきましたか。(○は一つ)

- | |
|--------------------|
| 1 交際相手がいいた (いる) |
| 2 交際相手はいなかった (いない) |

→ 「2 いなかった」を選んだ方は、問22に進んでください。

【問18で、「1 交際相手がいいた (いる)」と回答した方にお聞きします】

問19 10代、20代の時に、交際相手からア～カのようなことをされたことがありますか。(○は各項目に一つ)

	あ っ た 1 0 代 に	あ っ た 2 0 代 に	あ っ た 両 方 と も	全 く な い
ア 殴られたり、蹴られたり、物を投げつけられたり、突き飛ばされた (される)	1	2	3	4
イ 人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせをされた (される)	1	2	3	4
ウ あなたやあなたの家族への危害をほのめかすなどの脅迫をされた (される)	1	2	3	4
エ メールやSNSをチェックされたり、メールやSNSの返事をすぐに返さないと言って怒られたりした (する)	1	2	3	4
オ 性的な行為を強要された (される)	1	2	3	4
カ お金を貸しても返さない、いつもおごらされることがあった (ある)	1	2	3	4



すべて「全くない」を選んだ方は、問22に進んでください。

【問19で「10代にあった」、「20代にあった」、または、「両方ともあった」に一つでも回答した方にお聞きします】

問20 問19のことをされた時に、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。(○は一つ)

- | |
|--------------------|
| 1 相談した |
| 2 相談したかったが、相談しなかった |
| 3 相談しようとは思わなかった |

【問20で、「1 相談した」と回答した方にお聞きします。】

問21 実際に、だれ(どこ)に相談しましたか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|------------|
| 1 家族 |
| 2 友人・知人 |
| 3 同じ経験をした人 |

- 4 職場の上司
- 5 医師・カウンセラー
- 6 弁護士
- 7 公的な相談窓口・電話相談など
- 8 新座市女性困りごと相談室 新座市福祉相談室
- 9 その他 ()

6 教育についてうかがいます

問22 あなた自身が子育てをする場合、「男らしく」「女らしく」というように、男の子と女の子を区別して育てた方がよいと思いますか。(〇は一つ)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 区別して育てる方がよいと思う | 4 あまり区別しないで育てる方がよいと思う |
| 2 ある程度区別して育てる方がよいと思う | 5 区別しないで育てるほうがよいと思う |
| 3 どちらでもない | 6 わからない |

7 防災についてうかがいます

問23 防災・災害復興対策で配慮して取り組む必要があると思うことは何ですか。
(あてはまるものすべてに〇)

- 1 避難所に男女別のトイレや更衣室等を設置すること
- 2 被災者に対する相談窓口を設置すること
- 3 避難所等における暴力を予防するため、巡回警備等を実施すること
※ 過去の大震災では、女性や子どもに対する暴力（ドメスティック・バイオレンス、性犯罪等）が増加したという調査報告があります
- 4 乳幼児、高齢者、障がい者、病人、妊産婦、授乳中の方などのニーズを的確に把握すること、また、物資を支給する際には適切な配慮をすること
- 5 避難所運営の責任者に女性が配置され、被災者対応に女性の視点が入ること
- 6 防災計画・復興計画などを策定するに当たり、防災会議に女性が参画すること
- 7 救援医療体制（診察・治療体制、妊産婦をサポートする保健師・助産師の配置）を構築すること
- 8 特にない
- 9 その他 ()

8 性の多様性についてうかがいます

問24 LGBTQ（性的マイノリティの総称）という言葉を知っていますか。（○は一つ）

- 1 意味を知っている
- 2 聞いたことがあるが、意味は知らない
- 3 知らない

※ LGBTQ

L（レズビアン）、G（ゲイ）、B（バイセクシュアル）、T（トランスジェンダー）、Q（クエスチョニング）の頭文字をとった言葉で、性的マイノリティの総称の一つです。

Lesbian（レズビアン）：同性を好きになる女性

Gay（ゲイ）：同性を好きになる男性

Bisexual（バイセクシュアル）：同性も異性も好きになる人

Transgender（トランスジェンダー）：からだの性とところの性が一致しない人

Questioning（クエスチョニング）：好きになる性や思う性が揺れ動いたり迷ったりする人

その他にも、多様なセクシュアリティがあります。

問25 あなたは今までに自分の性別や恋愛対象などについて悩んだり、違和感を感じたことがありますか。（○は一つ）

- 1 ある
- 2 ない

問26 LGBTQ（性的マイノリティの総称）の人たちが暮らしやすい社会を目指すために、どのような取組が必要だと思えますか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 社会制度の見直し（法改正など）
- 2 教育現場での啓発活動
- 3 行政による啓発活動
- 4 専門的な相談体制の充実
- 5 多様な性に関する交流を行う場
- 6 その他（)

9 男女共同参画の取組についてうかがいます

問27 男女共同参画問題に関する次の取組や用語などをご存じですか。ア～トの各項目について、それぞれあてはまる番号を選んでください。(○は各項目に一つ)

	知っている 言葉も内容も	聞いたことがある	知らない
ア ジェンダー（社会的・文化的につくられた性別のこと）	1	2	3
イ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）	1	2	3
ウ ポジティブ・アクション（積極的格差是正措置）	1	2	3
エ セクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）	1	2	3
オ マタニティ・ハラスメント（働く女性が妊娠、出産を理由に解雇、雇い止めされることや、職場で受ける精神的、肉体的な嫌がらせ）	1	2	3
カ セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ （性と生殖に関する健康と権利）	1	2	3
キ SOGI（ソジ）※性的指向・性自認	1	2	3
ク ALLY（アライ）※セクシュアル・マイノリティ当事者の理解者・支援者	1	2	3
ケ 新座市男女共同参画推進条例	1	2	3
コ にいぎ男女共同参画プラン	1	2	3
サ 新座市パートナーシップ・ファミリーシップ届出制度	1	2	3
シ 選択的夫婦別姓制度	1	2	3
ス 男女共同参画社会基本法	1	2	3
セ 性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律	1	2	3
ソ 政治分野における男女共同参画の推進に関する法律	1	2	3
タ 男女雇用機会均等法	1	2	3
チ 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）	1	2	3
ツ 育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律（育児・介護休業法）	1	2	3
テ 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）	1	2	3
ト 困難な問題を抱える女性への支援に関する法律（困難女性支援法）	1	2	3

問28 男女共同参画社会を実現するために、市がどのような取組を進めたらよいと思いますか。(あてはまる

ものすべてに○)

- 1 学校における男女平等教育の推進
- 2 女性の社会的な自立を促す講座の開催
- 3 男女共同参画についての広報活動
- 4 経営者、事業主に対する啓発活動
- 5 福祉・健康・労働など女性に関する相談業務
- 6 保育所などの児童福祉の推進
- 7 市の審議会などへの女性委員の登用
- 8 地域活動やボランティア活動への支援
- 9 男女共同参画に関して活動を行っている団体への支援と育成
- 10 女性起業家の支援と育成
- 11 高齢者介護などの福祉の充実
- 12 男女共同参画推進プラザにおける事業の拡充
- 12 その他 ()

